

議 員 派 遣 案（第 25 号）

令和 7 年 12 月 18 日

次のとおり議員を派遣する。

県 政 調 査

1 目 的

韓国・文在寅政権退陣以降、冷え込んでいた日韓関係は改善の兆しを見せ、自治体間交流も再び活性化する傾向にある。

現政権も日本との関係について、引き続き重視していることから、自治体レベルにおいても、今後更なる交流の進展が期待されている。

そのような状況を踏まえ、今回韓国を訪問し、最近の韓国と日本及び自治体との経済・行政等における交流の状況を関係機関から聴取するとともに、本県と友好交流関係のある京畿道庁を訪問し、近年の本県との交流の状況、今後の交流の在り方等について意見交換を実施し、今後の議会活動の参考とする。

また、セウォル号沈没事故による教訓を踏まえてオープンした体験型防災教育施設を訪問し、海難事故防止に向けた先進的な取組について調査する。

2 派遣場所

大韓民国

3 期 間

令和 8 年 3 月 26 日から令和 8 年 3 月 28 日まで

4 派遣議員

7 人